

関大LMS教員用

15週テンプレートユニット操作マニュアル



【目次】

| | |
|-------------------------------|------|
| 1. まずはじめに | P.3 |
| 1-1. 15週テンプレートユニットVer2について | P.3 |
| 1-2. 画面イメージ図・参考操作例 | P.4 |
| 2. 15週テンプレートユニットを授業で使用するまでの流れ | P.5 |
| 2-1. 15週テンプレートユニットをインポートする | P.6 |
| 2-2. 教材一覧を整理する | P.8 |
| 2-3. 「ユニット」を編集する | P.9 |
| 2-4. 「教材」を作成・編集する | P.11 |
| 2-5. 授業開始後User(学生)へ公開する | P.13 |
| 3. 備考 | P.14 |
| 3-1. 関大LMSを使用するメリット | P.14 |

1. まずはじめに

1-1. 15週テンプレートユニットVer2について


旧バージョンでは、ユニット・資料・テストなどが個別の教材でしたが、本バージョンの15週テンプレートユニットでは、よくある教材(4種類)を組み込んだ状態で、ユニット教材を準備しています。

そのため、必要な教材内容を編集し、必要に応じて教材を追加・削除することで授業の準備ができます。

「15週テンプレートユニットver2.zip」ファイルのユニット教材内容は、以下の構成です。

●ユニット教材 (1週目)

- ・授業用資料(1週目)
- ・ミニッツペーパー(1週目)
- ・小テスト(1週目)
- ・レポート課題(1週目)



| |
|--------------------------|
| ユニット教材に組み込み済 の教材(4種類) |
|--------------------------|

※ユニット教材1つと教材(4種類)の計5教材が1セット、
計15週分(75教材)がインポートされます。

CEAS/Sakaiシステムから関大LMSへ移行するにあたって、
授業回(15コマ)分の教材を準備・作成したい場合に活用ください。

1-2. 画面イメージ図、参考操作例

■15週テンプレートユニット画面イメージ

WebClass
【2018】関大LMS実験用コース 管理

教材 ▼ 成績 ▼ 出席 ▼ その他 ▼ メンバー ▼ コース管理 ▼ 学生としてログインする ログアウト

お知らせ があります。

タイムライン

教材一覧

教材を作成する

教材並び替えレベル設定

ユニット教材に組み込み済の教材(4種類)

5教材で1セット

※必要に応じて、教材を追加編集・削除して、活用ください。

【用語説明】

ユニット：教材をいくつか組み合わせ、User（学生）が手順に従って学習に取り組む仕組みであり、資料やテスト/アンケート、会議室といった教材をAuthor（教員）がシラバスに沿って組み込むことが可能です。

【例：資料を読んでから、レポート課題を実施させたい場合】

ユニット教材に組み込み済の教材

「資料(1週目)」と「レポート課題(1週目)」を編集します。

その後、「1週目」(ユニット教材)を編集し、不要な教材は削除、必要な教材を設定し、保存します。

2. 15週テンプレートユニットを授業で使用するまでの流れ

2-1. 15週テンプレートユニットをインポートする

よくある教材4種類（資料、ミニッツペーパー、小テスト、レポート課題）を組み込んだユニットをインポートする。



2-2. 教材一覧を整理する

教材一覧内をラベルや教材の表示順を変更するなどして作業しやすいようにする。



2-3. 「ユニット」を編集する

必要に応じて、使用しない教材の削除、足りない「教材」の追加、学生が「教材」を行う順番などを編集する。



2-4. 「教材」を作成・編集する

ユニット教材と同時にインポートされた「資料」、「ミニッツペーパー」、「小テスト」、「レポート課題」といった「教材」に、教員各自が持っている授業用教材データをアップロードし、関大LMSの「教材」にします。

その際にオプション設定（教材の日時制限、実行回数制限、回答の見直しの許可／不許可など）も合わせて設定してください。



2-5. 授業開始後User（学生）へ公開する

授業の流れに応じて、ユニットを公開していきます。

2-1. 15週テンプレートユニットをインポート

ダウンロードした「15週テンプレートユニットver2.zip」を新しい教材一覧にインポートします。

①インポートする教材一覧画面で、「教材▼」→「教材を作成する」をクリックします



②「教材 新規作成」の画面から「インポート」をクリックします



③「参照」をクリックして「15週テンプレートユニットver2.zip」を選択し、「読み込み」をクリックします



④15週分（75教材）のインポートが完了

WebClass
[2018] 関大LMS実験用コース 管理

教材成績出席その他メンバーコース管理学生としてログインするログアウト

お知らせがあります。

タイムライン

教材一覧

教材を作成する

更新日 2018/02/19 14:52
実行者数 0

資料 (1週目)

ミニッツペーパー (1週目)

小テスト (1週目)

レポート課題 (1週目)

...

● ユニット

更新日 2018/02/19 14:52
実行者数 0

資料 (1週目)

資料

...

● ユニット

更新日 2018/02/19 14:52
実行者数 0

ミニッツペーパー (1週目)

試験

...

● ユニット

更新日 2018/02/19 14:52
実行者数 0

小テスト (1週目)

試験

...

● ユニット

更新日 2018/02/19 14:52
実行者数 0

レポート課題 (1週目)

レポート

...

● ユニット

更新日 2018/02/19 14:52
実行者数 0

2週目

ユニット

...

● ユニット

教材並び替え/ラベル設定

※2-2. 教材一覧を整理するを参照ください。

2-2. 教材一覧を整理する

「15週テンプレートユニット」は一気に75教材インポートするため、教材一覧内をラベルや教材の表示順を変更するなどして作業しやすいように整理します。

- ① 「教材の並び替え/ラベル設定」をクリックします



●ラベルの作成

- ② 「新しいラベル」をクリックします

「新しいラベル」をクリックし、ラベル名称を入力して「OK」をクリックすると、教材一覧の一番下に新しいラベルができる



●ラベルや教材の並び替え

ラベルや教材をクリックし、ドラック&ドロップで移動できる

●ラベルに「教材」を組み込む

- ③ 組み込みたい教材をラベル上へドラック&ドロップすると、一段下に表記されます

- ④ 並び替え完了後、必ず「変更内容を保存する」をクリックします



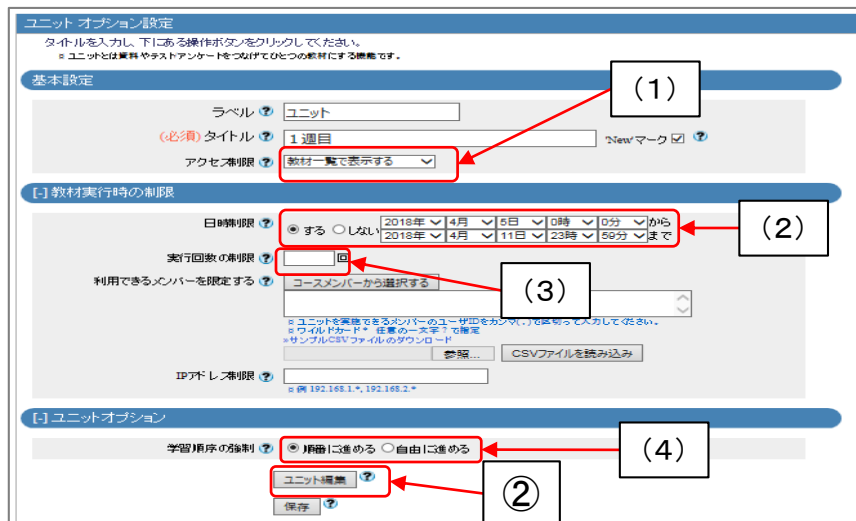
2-3. 「ユニット」を編集する

必要に応じて、不要な教材は削除、必要な教材を設定し、保存します。
また、学生が「教材」を行う順番などを編集します。

① 編集するユニットの「・・・」からオプションをクリックします



② ユニットのオプション設定を行い、「ユニット編集」をクリックします



ユニットオプション設定でよく使うものは(1)～(4)です

(1) アクセス制限 教材一覧で表示する : 学生の教材一覧画面に表示し、アクセスできるようにします。
教材一覧で非表示にする : 授業教材準備中などに使用します。

(2) 日時制限 学生がタイトルをクリックして「教材」を実施できる期間を指定します。

1週目の期間内のみ1週目の「教材」を公開し、2週目以降は1週目の「教材」を実施できないようにする場合は、サンプル画面のような設定になります。
教材実行の日時制限がない場合は「しない」を選択します。

(3) 実行回数の制限 教材を実施できる回数の上限を制限します。
設定不要であれば、空白で構いません。

(4) 学習順序の強制 ユニット編集画面で設定した順番で学生に教材を実施させるかを設定します。
自由に進める : 次に実施する教材を自由に選択できる。(デフォルト)
順番に進める : 前の教材が終了しないと、次の教材へ進めないようにします。

資料を読んだ後、レポート課題を実施させたい場合、サンプル画面のように「順番に進める」を設定します。

③ ユニットの編集して「保存」をクリックします

不要な「教材」を削除したり、サンプル教材以外をユニットに追加したり、学生に「教材」をどの順番で行わせるかを指定します。

●使用しない教材をユニットから削除する

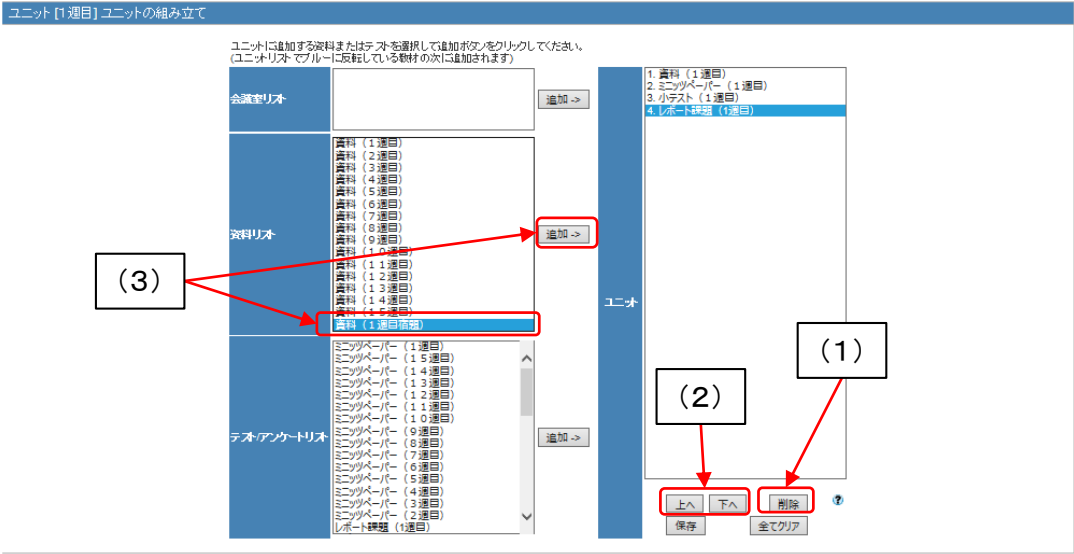
(1) ユニット(右側)から使用しない「教材」を選択し、「削除」をクリックする

●「教材」の順番を変更する

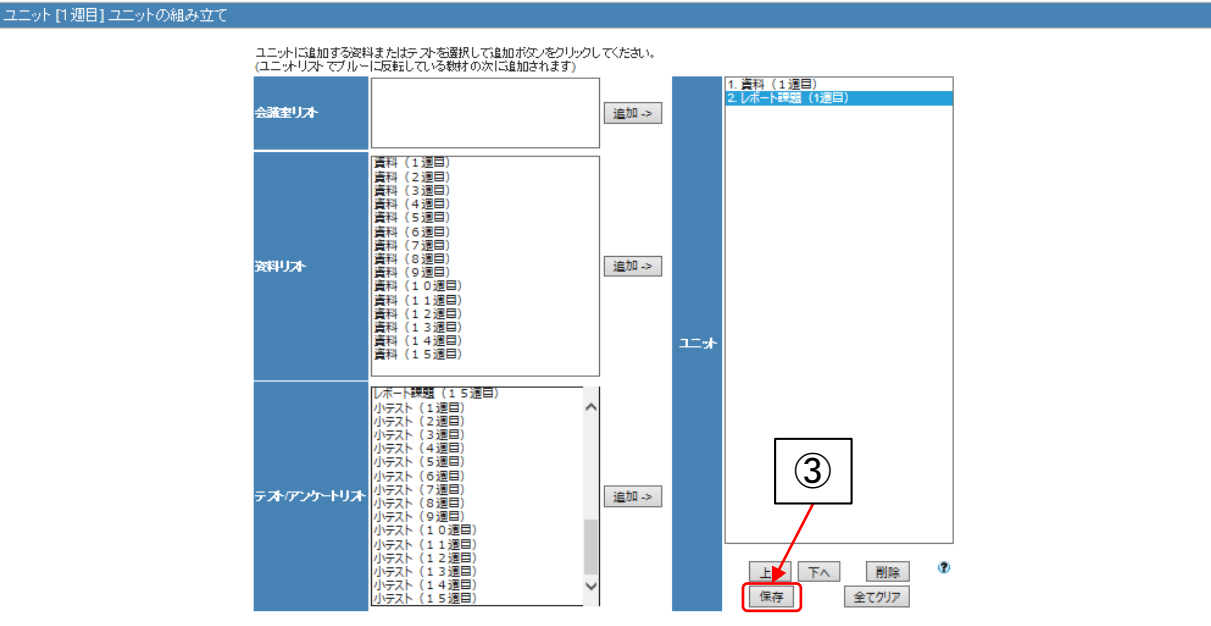
(2) 順番を変更する「教材」を選択し、「上へ」や「下へ」をクリックする

●使用する教材をユニットへ追加する

(3) リスト(左側)から追加する「教材」を選択し、「追加->」をクリックする



サンプル画面では学生に「資料」を見た後に、「レポート課題」を実施する順番に設定したいため、下の画像のように設定します。



④ 必要に応じて、①～③の作業を15週分行います

2-4. 「教材」を作成・編集する

※ユニット教材以外の「教材」作成方法はこのマニュアルでは割愛します。



マニュアルを参照ください。

- クイック操作ガイド

教材作成までの流れを写真つきで簡単に説明しています。

- WebClassコース管理者マニュアル

「クイック操作ガイド」より詳しい内容を説明しています。

① ユニットの「1週目」の横にある「▼」をクリックします

② 「ユニット」に連結した「教材」が表示されるので、編集する「教材」を選択します

※サンプル画面では「資料（1週目）」を選択しています



③ 選択した「教材」にジャンプするので「・・・」をクリックします

④ 「オプション」をクリックします



⑤ 「オプション設定」を編集し「資料編集」をクリックします

資料 オプション設定

タイトルを入力し、下にある操作ボタンをクリックしてください。
※説明 注意点は、教材を開発するときに表示として表示されます。

基本設定

ラベル ?

資料

(必須) タイトル ?

資料 (1 週目)

?

アクセス制限 ?

教材一覧で表示する

?

説明 注意点 ?

[-] 教材実行時の制限

日時制限 ?

2018年

2月

22日

12時

54分

から

2018年

2月

22日

12時

54分

まで

実行回数の制限 ?

回

制限時間 ?

分

利用できるメンバーを限定する ?

コースメンバーから選択する

※資料の配置ができるメンバーのコースIDを(マウスでクリックして入力してください。
※ファイルドカード※ 注意の一次で指定
※サンプルCSVファイルのダウンロード

参照...

CSVファイルを読み込み

IPアドレス制限 ?

※例 192.168.1.*、192.168.2.*

実行パスワード ?

[-] ページ表示の設定

表示形式 ?

目次を表示する

?

「しおりをつけて開じる」ボタンの表示 ?

する

しない

「印刷」ボタンの表示 ?

する

しない

[+] コース管理者に対する教材編集・成績閲覧制限

資料編集

?

保存

?

【注意】 ユニットを使用した際の教材作成時のオプション設定

注 1 アクセス制限 ユニットに組み込んだ各教材でも設定可能です。

【ユニット教材のみ実施させたい場合】
各教材のアクセス制限は「教材一覧で非表示にする」を設定してください。

【例：ユニットに組み込んだ資料のみ何度も閲覧させたい場合】
必要に応じて、資料教材のアクセス制限を「教材一覧で表示する」を設定してください。

| 【アクセス制限設定方法】 | ユニット教材 | ユニットへ組み込んだ各教材 |
|---------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| ユニット教材のみ実施させたい場合 | 教材一覧で表示する | 教材一覧で非表示にする |
| ユニット教材とユニットに組み込んだ資料を何度も閲覧させたい場合 | 教材一覧で表示する | ※資料教材:教材一覧で表示する その他教材:教材一覧で非表示にする |

注 2 日時制限、 ユニットに組み込んだ各教材でも設定可能です。
 実行回数の制限 教材実施に時間差をつける場合に使用します。

【例：資料は授業時間中に公開し、レポート課題は授業の翌日から公開し、提出させる場合】

2-5. 授業開始後User（学生）へ公開する

重要

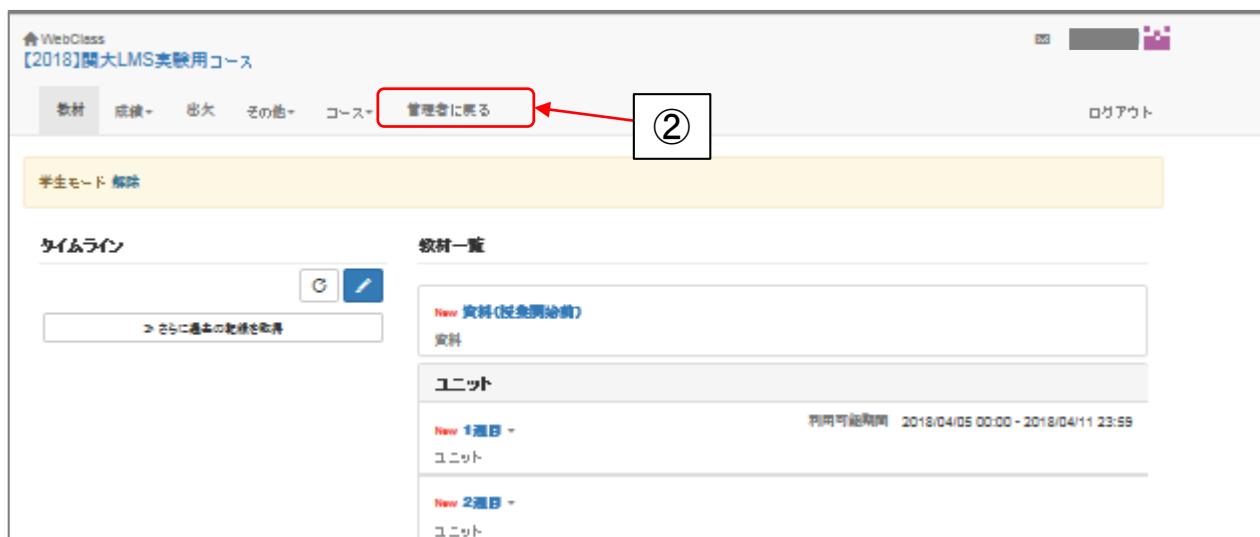
アクセス制限を使用して教材作成中に「教材一覧で非表示にする」設定にした場合は、必ず学生に教材を公開するタイミングで「教材一覧で表示する」に変更してください。

※教材作成後に「学生画面でどのように見えているか」を確認する方法

① 「学生としてログインする」をクリックする



② 確認後は「管理者に戻る」をクリックすると教員用の画面に戻ります



3. 備考

3-1. 関大LMSを使用するメリット

関大LMSを使用すると、以下のシーンにおいても有効です。

- ①授業で使用する教材（テストや資料など）を、必要に応じて関大LMS上で作成し、ファイルアップロードすることで、学生にWeb上で閲覧・学習させることが可能です。
- ②授業準備において、印刷依頼などが不要となり、学生へ教材を公開し、指示することで、作業の効率化がはかれます。

【参考例】

